

R7.12.11 (木) 19:10~20:20 司法ソーシャルワーク委員会 @ZOOM

参加者：堀ノ上、長岡、永尾、福永（晋）、船山、小川、森岡、原島、加藤木、神久、野代

(1) 来年度計画案と今年度報告書の作成について

総会 2026 年 5 月開催予定。議案書 4 月には配布予定。

そのため議案書は 3 月中に完成を。

2025 年度報告（堀ノ上さん作成）と 2026 年度計画書（野代作成）は 3 月上旬までには提出を。

計画案には委員長、副委員長、会計の選定も必要。研修企画も。

出来上がったら LINE ワークス経由で委員に確認してもらい、永尾さんに提出。

今年度新会員：船山さん（群馬病院）と小島さん（援護寮はばたき）

20205 年度の会計…事務局預かり中。清算時期検討。年度末の委員会は集合研修？

(2) 11月18日の見学会（@赤城少年院）の振り返りと感想

- ・内部事情が知れてよかった。もっと施設内見学したかった。
- ・グループワークがとてもよかった。今後も機会があればやってみたい。
- ・心理職の活用が生かされ切れていないことがもったいないと思った。
- ・寒かった。所長の話が面白かった。MHSW協会でも呼びたい。もっとざっくばらんに聞いてみたい。（司法でも教育でも定例会でも…）
- ・所長とのグループワークをしてみたい。
- ・専門職とMHSWとのかかわりなどを聞いてみたい。
- ・来年は榛名女学園の見学もしてみたい

(3) ケース報告

ケース 51～（報告は 64、63、56、54、55、57）

・事前情報では就労移行利用中だったが、実際は日中活動なかったのでやることなくて犯行に…→日中活動の場を作ろうと促した。

・パーソナリティ要素が強いものの幻視もあり、多弁。市役所でももめていた。両親との関係もあり AC だったのかも。

・知的障害。会話があまりできなかったので面会重ねる予定。

裁判員裁判案件。疎通、関係性の構築が大変なケース。

仕事さえであれば大丈夫。何にも頼る気はないと豪語。社会から孤立中

・市が両親に対しての虐待ケース。措置入院となった。

・精神疾患となると社会復帰しにくいのでと否認傾向。公判請求されたので、医療観察法にはのらなかった。

・わいせつ事件。犯罪性が強い。まずは主治医と相談を。赤城高原の紹介もあった。

性嗜好専門クリニックにつないだこともあった。

心セの依存症家族会やオンラインの SA、精神症状あったら精神科病院、鑑別所にある司法法務センターも紹介。

・赤城高原でも性嗜好のグループを細々とやっている。

・職場でも触法も増えてきていて大変。病院内でも福祉職と医療職で温度差がある。かかわり方が難しい。攻撃的な言動や問題行動多いと隔離などの処遇になりやすい。

(4) その他・情報共有

出所後支援の協議会が前橋市で開催されている。

刑務所、少年院、榛名女子学園、仏教保護会、前橋市、市役所が参加。

前橋市の生活保護は居住支援に力を入れている。

警察OBがやっている不動産屋が女性避難の支援などしている。VSI 都市開発。

触法支援、居住支援などできる法人に対して丸投げとなっている状況が増えている。

協働・連携できるといい。

来週前橋居住支援協議会が設立予定。(国土交通省管轄)

次回：2月上旬に開催予定。来年度計画案と報告書を纏める。